

富士通環境行動計画（要約）

富士通環境憲章に定めた事項を具体的に実践していくため、「富士通環境行動計画」（第2期：1996年4月策定）に各対策ごとの数値目標などを定めています。1998年度の目標と実績および1999年度の目標は、次のとおりです。

行動目標					
項目	行動目標	1998年度		1999年度目標	関連ページ
		目標	実績		
環境マネジメントシステム	工場や事業所（開発・サービス拠点含む）を対象に、2000年度末までにISO規格に基づく環境マネジメントシステムを構築・運用	開発・サービス事業所 認証取得 2事業所	2事業所 （達成）	開発・サービス事業所 認証取得 2事業所	7
製品リサイクル対策	回収廃製品を対象に、2000年度末までにリサイクル率90%達成	88%	88% （達成）	90%	9
工場廃棄物減量化対策	工場廃棄物量を、2000年度末までに1991年度実績比で80%削減	73%削減	80%削減 （達成）	83%削減*1	13
化学物質の排出削減	環境負荷低減のため、化学物質の排出量を2000年度末までに1995年度実績比で20%削減	15%削減	16.4%削減 （達成）	17%削減	15
省エネルギー対策（地球温暖化対策）	単位売上高当たりの電力使用量を、2000年度末までに1990年度実績比で20～30%削減	29%削減	30.8%削減 （達成）	34%削減*1	17

*1 工場廃棄物減量化対策および省エネルギー対策については、1998年度にて2000年度目標を達成しているため、1999年度目標（□部分）は新たに上乗せした目標値を設定しました。

1998年度環境負荷低減効果

1998年度の環境行動計画実施による環境負荷低減効果のうち、二酸化炭素削減効果は、次のとおりです。

項目	実績			効果 〔二酸化炭素換算〕 （単位：トン-C） ²
	1997年度	1998年度	削減量	
省エネルギー対策 電気、油、ガスの年間使用量 （単位：原油換算kℓ）	442,000	397,000	45,000	約22,000
工場廃棄物減量化対策 紙くず、廃プラスチック、廃油、木くず の年間廃棄量 （単位：トン）	3,800	3,000	800	約500
				合計 約22,500

*2 トン-C：二酸化炭素（CO₂）の中の炭素（C）の重さのみを表したものを。

行動目標達成のための主な具体策

環境マネジメントシステム

- ISO14001の導入
 - 共通仕様書類の整備によるシステム構築と運用の定着
 - 内部環境監査の実施によるシステムの有効性確認と環境パフォーマンスの向上

製品リサイクル対策

- 製品開発・設計段階における環境対応
 - グリーン製品の開発推進
 - 製品環境アセスメント実施によるレベル向上
 - リサイクル率の向上
 - ライフサイクルアセスメント（LCA）技術の導入
 - グリーン製品開発への適用
 - リサイクルを考慮した包装技術（リターナブルコンテナなど）の開発
 - 有害物質の使用自主規制
- グリーン調達推進
 - 環境に配慮した材料・部品・製品の積極的調達
- 廃製品の収集・リサイクル

工場廃棄物減量化対策

- 廃棄物の減量化
 - 廃油の廃棄基準の見直し、使用量の抑制
- 廃棄物の有効利用
 - 汚泥に含まれる有価金属や、現像液、めっき液などの再利用化の向上
- 減量化マニュアルと事例集の整備・運用

化学物質の排出削減

- 工場で使用・排出される化学物質の削減
 - 化学物質使用方法の改善による使用量の削減

省エネルギー対策

- 工場、事業所の省エネルギー技術・設備などの導入促進
 - 省エネルギー製造設備、製造プロセスの開発
- 省エネルギー技術、ノウハウの工場・事業所間の水平展開
- エネルギー使用状況の的確な把握方法、システムの構築